

令和8年度 学校経営の基本構想

◆学校経営の基本的な考え方

学習指導要領の趣旨及び内容を確実に実践することを学校経営の基本とし、その運営に当たっては、学校運営協議会の承認を得た上で、『子どものためになるかどうか』を判断基準のよりどころとし、「元気なあいさつのできる学校・いじめの起きにくい学校・**ウェルビーイングな学校**」を教育活動の基盤に据え、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進し、これまでの取組をより充実・発展させるものとする。

その推進に際しては、「児童が主役、ほめて伸ばす。ただしダメなものはダメ」を全教職員のモットーに、教職員と保護者・地域住民が一体となって児童を育てていきたい。

また、本校は、創立以来、愛校心・郷土愛・環境教育に力を入れて指導してきた。153年目を迎えた今年度も、継続して重点項目とし、脈々と培われてきた本校の歴史と伝統を大切に、誇りをもてる児童を育てたい。

そこで、「令和8年度下野市学校教育計画」を踏まえ、地域とともにある学校として、次のように自校化する。

1 本校の教育目標 「ふるさとを愛し 未来を拓く 石小っ子」

— 児童が主役 ほめて伸ばす ただしダメなものはダメ —

自ら考える子 <ul style="list-style-type: none">・興味・関心をもって学ぶ意欲・主体的に考え表現する力・協力して問題を解決しようとする態度	豊かな心をもつ子 <ul style="list-style-type: none">・人を思いやる温かな心・社会のために尽くそうとする実践力・進んであいさつのできるコミュニケーション力	健康でたくましい子 <ul style="list-style-type: none">・健康を維持増進しようとする意欲・自他共に生命を尊重する態度・根気よく頑張るたくましい心
--	--	---

2 めざす学校像（5つのいっぱい）

- (1) あいさついっぱいの学校 [活力・コミュニケーション力・礼儀正しさ]
- (2) 学びいっぱいの学校 [学ぶ力]
- (3) 友達いっぱいの学校 [豊かな心]
- (4) 汗いっぱいの学校 [健やかな体]
- (5) 花いっぱいの学校 [教育環境・勤労奉仕の精神]

3 学校経営の基本方針

- (1) 「学ぶ力」を育む学習指導の推進
 - ① 学びを保証する授業づくり
 - ② 「必要感」「納得感」「達成感」のある**学びの実現**
 - ③ 自律的な学習習慣〔家庭学習〕の確立
 - ④ 教職員の校内研修・教材研究の充実
- (2) 「豊かな心」を育む教育の推進
 - ① 気持ちの伝わるあいさつの励行
 - ② 道徳教育の充実
 - ③ 読書活動の推進
 - ④ 体験活動の充実
 - ⑤ 愛校心・郷土愛を育む教育
- (3) 「健やかな体」を育む教育の推進
 - ① 体力向上を図る指導の充実
 - ② 健康・安全教育の推進
 - ③ 食育の推進
- (4) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
 - ① 通常の学級における特別支援教育の充実
 - ② 特別支援学級・通級指導教室の指導の充実
- (5) 一人一人を大切にする人権教育の推進
 - ① 教職員の人権に関わる資質・能力の向上
 - ② 児童の人権感覚・人権意識の涵養
- (6) 自分の生き方を考えるキャリア教育の推進
 - ① 特別活動におけるキャリア教育の充実
- (7) 心の教育を踏まえた児童指導の推進
 - ① いじめの起きにくい学校・学年・学級づくり
 - ② 全校体制による組織的な指導
 - ③ 教育相談の充実
 - ④ レジリエンス(立ちなおる)力の育成

- (8) 「学び」と「育ち」をつなぐ小中一貫教育の推進
- ① 9年間を見通した連続性のある教育活動の推進（石橋中学校区小中一貫教育を踏まえて）
 - ・心の教育の推進
 - ・ふるさと学習の推進
 - ・英語教育の推進
 - ・家庭・地域との連携（学校運営協議会、学校支援ボランティア、PTA活動）
- (9) 情報リテラシーを身に付けさせる情報教育の推進
- ① 情報活用能力の育成
 - ② 学校ホームページによる情報発信
 - ③ ICT機器、特にタブレット端末を活用した授業の推進
 - ④ 情報モラル教育の推進
- (10) 学年・学級経営の充実
- ① 誰とでもあいさつができ、ウェルビーイングな学年・学級づくり
 - ② 所属感や連帯感のある学校・学年・学級行事

4 本年度の努力点（上記3「基本方針」の中で、特に本年度、努力してほしい点）

◇重点『気持ちの伝わるあいさつ（「活力・コミュニケーション力・礼儀正しさ」の源）』

(1) 学力づくり・・・学ぶ楽しさを実感する授業

- ① 「必要感」「納得感」「達成感」のある授業
 - 学校課題研究の成果と課題を日常の授業に生かす
- ② 分かる楽しい授業の展開
 - 目標が明確な授業 本時のねらいに迫るタブレット端末の活用の工夫
 - 個別最適な学びの実践**
- ③ 学年に応じた家庭学習の定着
- ④ 年間指導計画の自校化

(2) 心づくり・・・ふれあいの喜びを実感する学級・学年・学校行事

- ① 気持ちの伝わるあいさつの励行……**地域や校外でのあいさつ**
- ② 互いに認め合い、楽しく笑い合える学級づくり
- ③ 読書の楽しさを教える指導
- ④ **レジリエンス(立ちなおる)力の育成**

(3) 健康づくり・・・健康で豊かに生きる喜びを実感する学校生活

- ① 体力の向上
 - ・自己の目標に向かって最後まで頑張るたくましさ
- ② 健康・安全教育の推進
 - ・自分の健康・安全は自分で守る
 - ・メディアコントロールの推進
- ③ 食育の推進
 - ・食物アレルギーマニュアル実施の徹底

(4) 連携づくり・・・家庭・地域との連携及び小中一貫を実感する教育活動

- ① 学校運営協議会の充実……地域の方々との協働
- ② 小中一貫教育の推進……石橋中学校区実践研究課題「心の教育」の充実
- ③ 情報提供の充実……各担当によるホームページの更新

5 石橋小学校教職員の心得

学び続ける教師のみが、児童を指導できる！

- (1) 常に子どもとともにある教職員
- (2) 温かさや厳しさをもって、子どもを導ける教職員
- (3) 保護者や地域社会から信頼される教職員
- (4) 互いに高めあい、学び続ける教職員

※「下野市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づき、教職員がやりがいを持ち、子どもたちと向き合う時間を確保するためにも、校務の改善を進めていく。